

学生が暮らしやすい 兵庫



甲南大学
編

2017.11 - 2018.01 3ヵ月連載企画 Vol.1

兵庫県への移住・定住を推進するため、西日本を中心とした高校生に対し県内の大学のPRを行う「メディアと連携した高校生・大学生向け広報業務」。兵庫県とKiss FM KOBEが連携し、県内の大学に通う学生たちを紹介します。

小学生から野球一筋 1人暮らしに憧れ兵庫県へ

在学生インタビュー

まつい ひろき

甲南大学経済学部経済学科 **松井 博輝**さん



自分が決めた道を進ませてくれた両親に感謝しています

甲子園の常連校・広島県の広陵高校で活躍、今も大学で野球部に所属している松井博輝さん。兵庫の大学に進学した一番の理由は「県外に出たかった」からだという。

「高校で寮生活をしていたんですが、色んな地方から来た子がたくさんいたんです。そんな友人たちから話を聞いていたら、親に感謝しつつも「家を出て一人で生活したい」という気持ちはだんだん強くなりました」

そこで野球部の監督に相談し、指定校推薦の枠もあることから甲南大学に決めた。親御さんは「自分が行きたいところに行きなさい。自分が決めた道を進みなさい」と進学先も自身に決めさせてくれたという。進路が決定した時も「じゃあそこで頑張れよ」と、後押ししてくれた。そんな両親に感謝し、自分が将来子どもを育てる時にも「そんな風に、自由に道を決めさせてあげられる親になりたい」と話す。

野球部では小学生の頃からキャッチャーを務める。最初こそ花形のピッチャーに憧れを抱いていたものの、監督から「キャッチャーをやってみろ」と言われポジションを変

更、始めると徐々に楽しさもわかってきた。今では、キャッチャーしかできないと思えるほどに誇りを持っている。現在3年生、辞めていく同級生もいる中だが来年の春までは野球を続けたい。就職活動は大変だと思いつつも、阪神大学リーグ一部として神宮を目指している。

1人暮らしも3年目、神戸の東灘区に住んでいる。いざ兵庫県に住んでみると、交通の便が良いのに落ち着いて住みやすいと感じた。休日には野球部の友達と買い物に行くことも楽しみの一つ。自宅から電車やバスを使って行ける距離に2カ所のアウトレットがあり、初めて行った時は「すごい広いなあと思って、服とかたくさん買っちゃいました」と感動したという。

就職先は食品メーカーを希望している。「今までスポーツばかりをしてきたので、スポーツに関係のない違う世界に入りたいという気持ちがあります」。

“勉学に励みながらスポーツでも活躍できる”、この文武両道こそ甲南大学の基本的な考え方。その設備を十分に活用し、学生生活を楽しんでいる笑顔は晴れやかだ。

周囲の人の声

松井博輝さんの父
松井 和也さん



息子が広島から神戸に引っ越すタイミングで一度だけ甲南大学に行きました。伝統校らしい格式がある学校だという印象があります。高校生時代の息子は、野球のために寮生活をして、野球漬けの3年間。大学に進学してからの方がよく帰省してくれるようになりました。大学に進学する際には、「寮生活とは違って自由な一人暮らしになるが、指定校推薦で進学したことを自覚し、墮落して後輩の道を閉ざすようなことはし

ないように」という話をしましたが、甲南大学では野球も勉強もバランスよくやっているようです。何か一つのこと打ち込むことも大切ですが、社会に出たらバランスも大切だと思うので、大学では社会に出るための経験を学ばせてもらっているのかなと感じています。卒業後、社会人として派手ではなくていいので、人に流されることなく自分自身の意思で想いを持って決断できる人になって欲しいと思います。



甲南大学

<http://www.konan-u.ac.jp/>

みつかる、きみのなかの無限大

甲南大学は、世界的研究・教育拠点をめざす学部・研究科や研究者・高度専門職業人の養成をめざす研究科・専門職大学院もある総合大学です。

大学の教育方針の根本には、学園創立者平生鈞三郎（ひらおはちさぶろう）が主唱した「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」、「世界に通用する紳士・淑女たれ」という建学の理念があります。この理念のもと、甲南大学は、教養と専門とのバランスを大切にしながら人物重視の教育をおこない、良質な社会的常識・倫理観・品格を備え、自ら率先して社会に貢献できる専門性を持った人材の養成をめざします。

News

甲南・新世紀～2017年9月、
「KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)」誕生
約60年にわたり甲南大生のキャンパスライフを支えてきた旧学生会館一帯が、甲南学園創立100周年記念事業の一環として、「KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)」に生まれ変わりました。iCommonsは地上4階地下1階、延床面積13,829平方メートルの規模で、食堂・課外活動施設のほか、学生サービス部門の事務室も移転。岡本キャンパスの新たなシンボルとして甲南学園の新世紀、学生生活の新たな拠点となるiCommonsにご期待ください。

